

## 【県立高等学校・特別支援学校】

### ○安心・安全の確保

- ・保護者が教職員とともに交通安全指導に携わり、指導の効果が高まった。
- ・学校行事で火気を使用する場面があったが、ボランティアがいてくださったおかげで安全に行うことができた。

### ○学習の充実

- ・担当教員では指導できない専門的技術の指導を受けることができた。
- ・総合的な学習の時間において、外部講師として地域の職人の方から教員には伝えられない実務的、専門的な技術の指導やアドバイスを得ることができた。

### ○学校理解

- ・ボランティアを経験していただいたことで、障害への理解や本校生徒への理解が得られた。
- ・体育的行事では、生徒の活動状況を直接見ることで、生徒がいかに頑張っているかを知ることができた。登校指導では、生徒の挨拶状況がとても良いと実感できた。

### ○環境整備

- ・グラウンド整備や合宿所清掃などの作業がスムーズに進み、職員と教員の絆が強くなった。
- ・環境の整備・美化活動により、校地内のゴミが減少するなど生徒の環境美化に対する意識が高まった。

### ○キャリア教育・郷土愛

- ・会社を運営する立場の方から、働くことの意義やすばらしさについて例を示してお話してもらうことができた。
- ・進路探究合宿において、一番身近な大人の方からの言葉をいただくことができ、生徒にとって忘れられないものとなった。

## ○教員の負担軽減

- ・小規模校で教職員数が少ないため、学校行事での支援は教職員の負担軽減になっている。
- ・部活動では専門的な指導をしてもらい、教員だけのときより効果的な指導ができた。

## ○学校・家庭・地域のつながりの深まり

- ・学校経営方針や学校教育活動の目的を理解していただく良い機会である。また、保護者の意見も収集しやすくなることから、学校教育活動に反映しやすくなり、学校並びに保護者ともに相互理解の深化が図られ、相互受容関係へと発展させていくことができる。
- ・保護者や地域の方々の学校に対する理解が深まることにつながってる。また、県内全域から集まっている本校の幼児児童生徒にとっても、学校や寄宿舎がある地域の理解、地域で暮らす上での安全安心につながっている。

## ○ボランティアのやりがい

- ・特別支援学校の子どもたちの実態や学習の様子が分かり、どんな支援が必要か、実際に接してみて分かることが多かった。また、特別支援学校の先生方がどのように指導しているのかを実際に見ることができてよかった。
- ・学校行事の円滑な進行、障害のある児童・生徒の理解と支援に関する体験、行事の記録（写真、ビデオ）やゲームの手伝いなどいろいろな体験をすることができよかった。